例

紡績運転技能実習評価 専門級 学科試験問題

専門知識:合撚糸工程(仮撚り)

- (1) 決められた * 給 * パッケージ(POY)がなくなったときは、 代わりに 違う 光 種の * 給 * パッケージ (POY)を使用してもよい。
- (2) 仮燃機は、1ヒータータイプと 2ヒータータイプがある。
- (3) 仮燃糸には、S燃と Z燃がある。
- (4) 仮撚機の撚掛け装置には、スピナー式、ニップ式、フリクション式がある。
- (5) 仮燃機の糸道ガイドの傷は、毛羽の発生原因にならない。
- (6) 仮燃工程では、セット時間の管理は重要である。
- (7) 仮より機の機台を始動するときは、機台周りの安全確認をしない。
- (8) 条仕掛けを標準動作道りに行えば、仕掛け後の負値りは必要ではない。
- (9) 彼熱主程の重量な3T管理とは、温度、熱数、張っかである。
- (10) 加立速度(ヤーンスピード)が一定であれば、茶の種類が変わっても仮燃機のヒーター温度を変える必要がない。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
×	0	\bigcirc	\bigcirc	×	0	×	×	0	×

2. 炎の父の() の竿のどちらかを選んで、①または②で答えよ。(30点)

- (1) オートドッファーは、パッケージを(①宝あげ ②クリーニング)する装置である。
- (2) 一般的に、加工速度(ヤーンスピード)を上げると糸切れ率は(①低く ②篙く)なる。
- (3) 仮機機のヒーター温度が高くなると、糸への加熱量は(①大きく ②小さく)なる。
- (4) 撚縮みは、撚数が (①少ない ② 切り ほどだきい。
- (5) 仮燃糸は、加燃ー熱セットー (①解燃 ②加燃) でつくられる。

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
1	2	1	2	1